

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

<p>研修成果の活用レポート/NITS大賞エントリーシート</p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS大賞エントリーシートと同様式です。NITS大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p>	<p>※事務局記入欄</p> <p>受理No. : B-48</p>
<p>【学校名・氏名】 兵庫県立上郡高等学校 村中利章 (研修受講時 兵庫県立教育研修所)</p>	<p>【応募部門】</p> <p>働き方改革実践部門</p>
<p>【修了研修名】 平成30年度 第2回 副校長・教頭等研修</p>	
<p>【活動名】 教頭業務の改善から創造へ – 教頭間連携で見直す学校業務の改善 –</p>	
<p>解決すべき課題：</p> <p>校内の働き方改革を進めるうえで、その中核を担う教頭の業務改善が急務となっている。そこで、指導主事時代に開発した「ひょうご教育アンケートシステム」(H28開発)^{※1}や「ファイルシステム」(H30開発)^{※2}を、本年度から着任した高校で教頭業務に照らして実践的な事例を積み上げる。</p> <p>※1 ひょうご教育アンケートシステム：表や文章表記の回答欄が混在する調査も、自動集計しやすい形式に自動変換し、瞬時に集計が完了する汎用性の高いシステムである。(Excel利用)</p> <p>※2 ファイルシステム：必要な情報に短時間でアクセスできるように、電子データを階層化して分類する「フォルダ」と紙ファイル用の「背表紙ラベル」、その全体を俯瞰する「ファイル基準表」が自動で作成できる。(Word・Excel利用)</p>	
<p>目標・方針：</p> <p>① 教職員支援機構の副校長・教頭等研修で学んだ研修手法を活用し、課題を明確化する。 ② 教頭としての実践により見えてきた、「学校での困りごと」に着目したシステムの活用方法を検討する。 ③ 業務改善に向けた取り組み等の情報を収集・共有するための、教頭自主研修会を開催する。</p>	
<p>活動内容：</p> <p>【参考】 平成28年度 ひょうご教育アンケートシステムの開発（兵庫県立教育研修所 主任指導主事） https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu-p-lib/hyo5inquiry.html ○解説動画作成 ○システム利用のための校内研修プログラム作成</p> <p>平成29年度 普及に向けた研修会開催（兵庫県立教育研修所 主任指導主事） ○全県立学校教頭、教育委員会副課長・指導主事を対象に研修会を8回実施。</p> <p>【実践】 平成30年度 ファイルシステムの開発（兵庫県立教育研修所） https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu-p-lib/niwatori.html ○Microsoft Excel VBA を用いて「①電子データ保管のためのフォルダ（図1）」や「②紙ファイルのラベル（図2）」、「③ファイル基準表（図3）」を一括して作成するシステムを作成した。 ○①②③の通し番号が連動し、基準表を見るだけで必要な情報に簡単にアクセスできるようになった。 ○異動や分掌変更の際に文書の検索・作成に係る時間とストレスを最低限に抑え、新たなことに挑戦する時間とモチベーションの確保につながった。</p>	



図1 フォルダ自動作成

図2 紙ファイルのラベル

図3 ファイル基準表

平成31年度 兵庫県立上郡高等学校での実践、全県教頭研修会後の自主研修会開催
 【ファイルシステムの活用】

- ファイルシステムを活用し、教頭が取り扱う情報を整理分類し、階層化した。
- フォルダ、ラベル、ファイル基準表を作成し、情報一元的に集約し、共有を進めた。

【ひょうご教育アンケートシステムの活用】

- 中学生対象のオープンスクールの申し込みに活用した。

【旅行命令簿の改良】

- 旅行命令簿（紙決裁）から職員のサービス管理のため、必要な情報をExcelに手入力していたものを、必要な部分をQRコード化し、QRコードリーダーから読み取れるよう研究・開発中である。（図4）

【兵庫県立学校教頭研修会後の自主研修会開催】

- 全県教頭研修会後に、自主研修会「ICT活用による教頭業務の改善研修」を開催した。

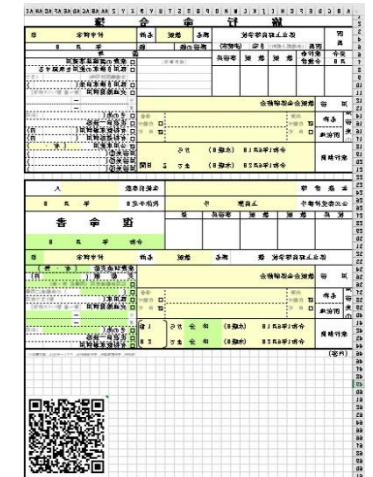


図4 QRコード付き旅行命令簿

活動の成果：

(1) ファイルシステムの開発と普及

今回開発したファイルシステムが普及することにより、所属の範囲を超えた共通のファイルシステムが構築され、異動に伴う文書の検索・作成のストレスが軽減されることにより、異動直後のパフォーマンスの低下も最低限に抑制されることが期待される。

また、年度替わりの業務の繁忙期にあっても、このシステムでファイルの分類・整理基準を一度作成しておく、以降は新規事業の追加や修正で済むことから、フォルダやラベルの作成にかけていた時間を、教職員の創造的な業務に振り向けることが可能となり、業務改善と教職員自身のスキルアップにつながる。

(2) 自主研修会の開催

開発した2種類のシステムによって、できることを他校の教頭に伝えていくことで、活用に向けたアイデアもいただくことができた。アンケートシステムは兵庫県、和歌山県の教育委員会に導入されている。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

ひょうご教育アンケートシステム、ファイルシステムともに、これまでの業務の中で、単純ながら莫大な時間を費やしてきた業務を、マクロ化により大幅な時間短縮を可能にした。また、実際に教頭として高校に異動し、直面する課題の解決に向けて、これらのシステムを活用してきたことや、他校の教頭と連携したことで、課題解決に向けた取り組みとなった。教頭が創造的な取り組みに時間を割くことこそ、改革につながると考える。